

当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は、8日に開催されたW杯準決勝において、ブラジル代表が敗退したことにより、クリチバ市及び同大都市圏で騒動が発生した旨報じているところ、概要を以下のとおりお知らせ致します。

1 8日午後6時半頃、クリチバ市シチオ・セルカド地区において、停留所にて停車中のバスに6人の犯人が乗り込み、車内にガソリンを撒き引火した。更に犯人はバス料金徴収員から現金を強奪していたところ、炎が犯人の1人に燃え移り、市内の病院に搬送され逮捕された。

2 同日午後7時頃、同市タトゥクアラ地区の国道116号線を走行していたバスに乗り込んできた5人の犯人は、乗客にバスを降りるよう命令し、乗客が降りたところで車内にガソリンを撒き引火したが、現場を通った別のバスの運転手が事態を察知して消火した。

3 同日午後7時頃、クリチバ大都市圏ピラクアラ市内において、停留所にて停車中のバスに1台の車が近付き、アルコールとガソリンを投げつけ引火させたが、火は周囲の住民によって消火した。

4 クリチバ都市化公社（URBS）によると、ブラジル代表の敗退後から同市路線バスに対して放火及び投石被害が21件発生したと公表している。

<当館からのお願い>

- ・7/12(土)17時からW杯3位決定戦（ブラジル対オランダ）が予定されており、勝敗によっては、類似事件が発生する可能性もありますので、十分お気を付け下さい。
- ・万が一被害に遭われた場合は、被害拡大防止のため、在留邦人等の皆様と（個人情報等をふせた上で）情報を共有するためにも、当館（担当：警備班・領事班）へご連絡いただければ幸いです。